

麻疹対策！



○麻疹について

- ☆麻疹は、感染力が強く、免疫がない方が感染するとほぼ100%発症する病気です。
- ☆初期症状（初めの3～4日）は、発熱（38℃前後）、咳、鼻水、目の充血、目やになどです。いったん熱が下がっても、再び発熱し、全身に発疹が出て、さらに4～5日高熱が続きます。
- ☆潜伏期間は10～12日（最大3週間程度）です。患者さんと接したからといって、すぐに発症するわけではありません。
- ☆定期接種前の1歳未満児や、免疫機能が低下している状態の子が麻疹を発症した場合、重症ウイルス性肺炎等で死に至る場合があります。
- ☆麻疹は感染力が非常に強く、空気感染するため、手洗いやマスクの着用だけでは予防できません。麻疹の予防には、ワクチン接種が有効です。

★生まれ年でわかるワクチン接種状況

生年月日	定期接種回数	感染リスク	追加接種の必要性
1972(昭和47)年9月30日以前	0回	自然感染によって免疫を十分に持っている人以外は、感染のリスクあり。	過去に麻疹にかかったことがない方は追加接種をご検討ください。
1972(昭和47)年10月1日～1990(平成2)年4月1日	1回	定期接種として1回しか接種していないため免疫が不十分で感染のリスクあり。	過去に麻疹にかかったことがなく、予防接種歴2回を確認できない方は追加接種をご検討ください。
1990(平成2)年4月2日～	2回	定期接種として2回接種を受けていれば、感染のリスクは低い	母子手帳等で2回接種を確認できれば、追加接種は不要です。

定期接種の対象は、「**1歳児**」と「**小学校入学前1年間の幼児**」です。接種対象年齢になったら、速やかにワクチン接種をお願いします。



最後に

- ◆予防接種歴は、①母子手帳の記載で確認、②平成2年以降の接種に関しては、実施した自治体に本人が問い合わせれば、確認可能な場合があります。
- ◆ワクチン接種後の年数経過と共に免疫が低下し発症することがあるため、2回接種が推奨されています。**ワクチン2回接種者の抗体保有率は、約99%です。過去にかかったかどうか、ワクチン接種歴を確認の上、合計2回予防接種を受けましょう。**

＜山形県健康福祉部健康福祉企画課令和8年4月作成＞